



投資詐欺急増

SNS型投資詐欺が急増しています。手口はまずLINE、フェイスブック、インスタグラムといったSNSを入口にして投資セミナーやグループに誘い、偽物の投資アプリを導入、入金させます。アプリ上では利益が出ているように見えるので、被害者は追加で入金してしまい、被害額が膨れ上がるものです。

有名人を装って信用させる手口が多く、堀江貴文さん、森永卓郎さん、前明石市長などの写真を勝手に使い、広告を出します。偽動画や偽音声のケースも。また、有名人や外国人を装い、恋愛感情を抱かせて投資に誘うロマンス詐欺も増加しています。

これまでと異なる被害層者

5月に兵庫県内の男性が6億6千万円被害に遭いました。と言うと「そんなにお金もつてへんから大丈夫よ」というコメントが返ってくることも。大きな額はニュースになって目立ちますが、身近な額の被害も多数。男女ともに50歳代、60歳代がSNS型投資詐欺被害者の半数を超えています。

特殊詐欺を逆転

これまではオレオレ詐欺や還付金詐欺といった特殊詐欺が多かったのですが、今年1月～3月の兵庫県内の被害は特殊詐欺が約3億7千万円（258件）に対し、SNS型投資詐欺とロマンス詐欺は約19億7千万円（155件）でした。（明石警察署調べ）

特殊詐欺の人口は、ほぼ固定電話。その対策として明石市は自動録音電話機の購入補助を65歳以上の方等に行っています。

国は対策を急げ！

自治体や警察による川下対策だけでは被害を大きく減らすことができません。

政府は新NISAなどで投資を推奨していますが、同時に投資詐欺対策をすすめるべき。偽広告対策や、ポンジスキームと呼ばれる自転車操業詐欺を取り締まる法整備、国民への注意喚起など、すぐに取り組まなくてはなりません。

詐欺から 国民を守れ！

SNS 投資詐欺急増

中西レオのどーおもいますか！

